

# インテリア・エクステリア用パネルおよびブロックのデジタルデザイン研究 (Ⅱ)

## 1. 目的

製品開発のデジタル化が加速するなか、プロダクト製品として発展可能なインテリア/エクステリア用のパネルやブロックを3次元CADによるデザインとRPモデルの作成というデジタルデータ化されたデザインを提案する。そして県内の住関連産業において、デジタル型の製品開発過程のメリットを取り入れ、効率的で付加価値の高い競争力のある製品が生み出せるようになることを目的とする。

## 2. 方法

デザイン/設計ソフトウェアとして、ソリッド・サーフェス融合型三次元CAD (thinkdesign)、および3次元データから短時間で実体モデル「RP (Rapid Prototyping)」を制作する造型機として粉末積層式造形装置 (Z402) を用いて、形状のモデリングを繰り返しながら完成度の高いモデルを研究する。

## 3. 結果

設計の3次元化による物作り環境の変化により、模型を作る技術は、今やデジタル化され自動的に形態が造り出されるが、デザインツールのデジタル化が進むほどデザイナー自身に要求される発想力、造形力、表現力がいっそう重要になる。

インテリア/エクステリア用装飾パネルとブロックを試作した。(図1, 2) また室内空間やショップディスプレイ空間を意識したパーティション (空間間仕切り) や三次元空間を演出するブロックをモデリングした。(図3, 4)

光透過性のある樹脂・コンクリート・木質等の新素材活用を想定したブロックや壁面タイル, LED内蔵・太陽光発光のアプローチライトやソーラガラススタイル等にも発展可能なプロダクト提案である。

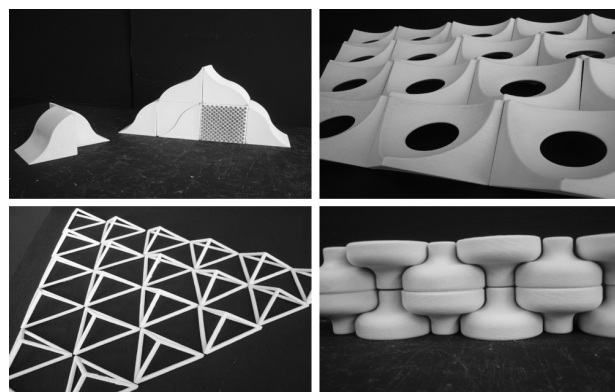


図2 装飾ブロック

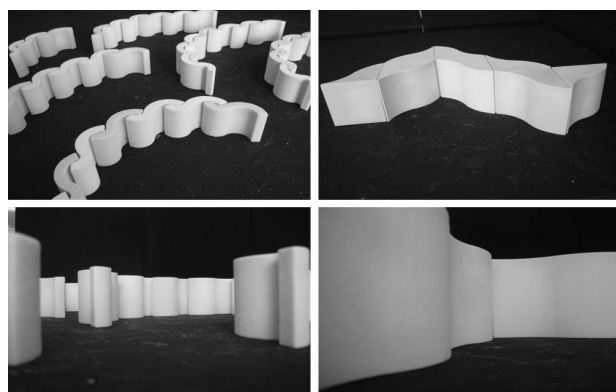


図3 空間間仕切りブロック

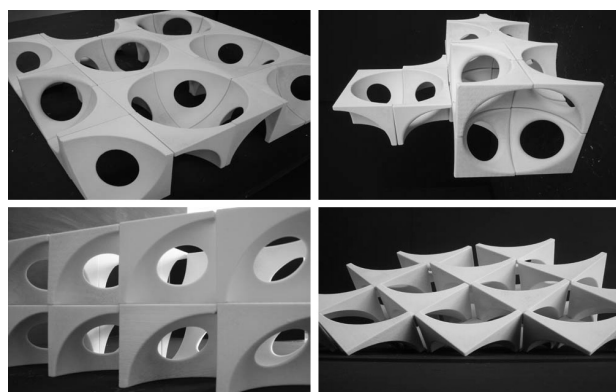


図4 三次元空間演出ブロック

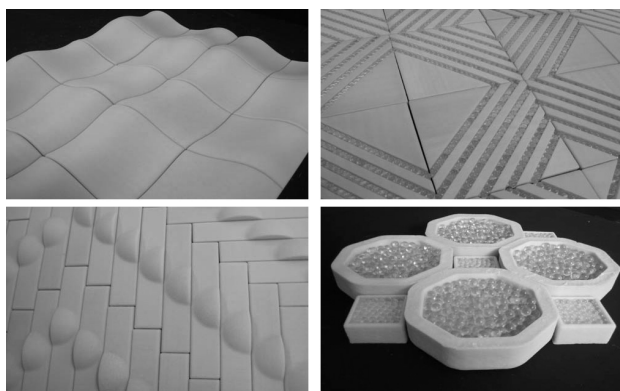


図1 装飾パネル